

平成 26 年度 大阪産業大学附属中学校 学校評価

1 めざす学校像

建学の精神「偉大なる平凡人たれ」は、平凡な日常生活をきちんと送っていくことこそ偉大なことである、地道にたゆまず努力していくことは偉大なことであると教えています。

1 学年 2 クラスという小規模校の利点を活かして、一人ひとりに目を行き届かせ、「偉大なる平凡人たれ」との建学の精神に基づき、地道にたゆまず努力していくことを大切にする教育を行っていきます。

また、「楽しいだけでは学校ではない。楽しくなければ学校ではない」と考え、年間を通じてさまざまな行事を行い、生徒が多くのかつことを体験することによって、楽しい学校生活、笑顔あふれる学校生活をつくっていきます。

2 中期的目標

1. 教学改革

- (1) カリキュラムの改定
- (2) 人格の形成をめざして
- (3) 生活指導の充実
- (4) 課外活動の活性化
- (5) 国際理解教育の推進
- (6) 大阪産業大学ファミリーの構築

2. 進路指導の発展

- (1) 進路指導部の充実
- (2) キャリア教育の充実

3. 広報

- (1) 優秀な生徒の確保
- (2) 入試広報の充実
- (3) 入試渉外活動の充実

4. 人材育成

- (1) 優秀な職員の確保と研修の促進

5. 経営改革

- (1) 財政基盤の確立
- (2) 学校規模の適正化
- (3) 施設設備の充実

6. 防災・安全対策

- (1) 防災対策の徹底
- (2) 安全対策の徹底

7. 学校運営

- (1) コンプライアンスの遵守
- (2) 情報開示

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [平成 27 年 1 月実施分]	学校評価委員会からの意見
○生徒 別紙「2014年度 アンケート結果のご報告」参照 ・「授業アンケート」の結果 ・「授業を受ける態度と学習についての自己評価アンケート」の結果 ・「学校生活についてのアンケート」の結果	別紙「2014年度 学校関係者評価」参照

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価	
1 教学改革	(1) カリキュラムの改定 ア. 学校行事の見直し	<p>「楽しいだけでは学校ではない。楽しくなければ学校ではない」と考え、年間を通じてさまざまな行事を行い、生徒が多くのことを体験することによって、楽しい学校生活、笑顔あふれる学校生活をつくっていきます。</p> <p>4月 新入生宿泊研修 5月 3年ニュージーランド研修、校外学習 6月 芸術鑑賞 7月 1・2年体験宿泊研修、3年勉強合宿 9月 体育祭、文化祭(梧桐祭) 10月 校外学習 11月 文化発表会 1月 2年スキー研修 2月 1年百人一首大会</p>		7月に同時に別の場所を実施し人的な配置に窮屈なところがあった1・2年体験宿泊研修と3年勉強合宿を、平成27年度より同じ場所で開催することにしました。	
	ウ. 学習効果の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートの実施 ・授業を受ける態度と学習についての自己評価アンケートの実施 	アンケート結果	「生徒が主体的に学習に取り組むためにどのようにしていくのか」が本校の大きな課題となっており、引き続き取り組んでいきます。	
	(2) 人格の形成をめざして				
	ア. 徳・知・体「三位一体教育」の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・体育祭への取り組み ・文化祭(梧桐祭)への取り組み ・文化発表会への取り組み 	ホームページに掲載している体育祭・文化祭(梧桐祭)の動画	平成26年度、体育祭・文化祭(梧桐祭)は大きな盛り上がりを見せました。体育祭では、競技前に円陣を組んで気合を入れる姿があらこちらで見られ、国旗・校旗の掲揚・降納の際に校歌が自然発生的に歌われました。梧桐祭では、保護者の方から「良い雰囲気だね」と、会場の雰囲気を褒めていただきました。	
	イ. 平和・人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・人権意識アンケート(5月) ・人権教育週間(6月) ・人権啓発週間(9月) ・人権フォーラム(11月) 	各取り組みの実施	人権意識アンケート(5月)、人権教育週間(6月)、人権啓発週間(9月)、人権フォーラム(11月)に取り組んできました。	
	ウ. 「面倒見の良さ」と「厳しさ」の両面から迫る教育の実践	学習の到達度をチェックできるよう、毎日早朝テストを実施します。理解できていないところがあったり、時間をかけて学習していない場合は、個別指導、再テストを行い、着実に学力が定着できるよう指導します。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の早朝テストの実施 ・個別指導、再テストの実施 	「面倒見の良さ」ということは、生徒を甘やかすということではありません。面倒見良く指導し、やらなくてはならないことはきちんとやるようにする「厳しさ」が必要であると考えています。早朝テスト、個別指導・再テストを実施し、「面倒見の良さ」とともに「厳しさ」の両面から教育実践をすすめました。	
(3) 生活指導の充実 ア. 挨拶の励行	挨拶励行の呼びかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・学校関係者評価委員会での保護者・地域住民の方の意見 ・生徒の学校生活アンケート 	保護者・地域住民の方などから本校の教育について意見を伺うための学校関係者評価委員会で「生徒が挨拶をきちんとしている」との評価を受けており、また生徒自身も学校生活アンケートで「この学校の生徒は、挨拶をきちんとしている」との設問に80%台半ばが好評評価をしています。		
イ. 個性を伸ばす生徒指導の実施	「褒めて伸ばす」指導	全体職員会議で提起	4月1日に実施した非常勤講師を含めた全体職員会議で、「褒めて伸ばす」指導ということ提起し、生徒の自己肯定感を高めるように取り組んでいます。		

1 教学改革	<p>(4) 課外活動の活性化</p> <p>イ. 文化・芸術活動の充実</p> <p>イ. 生徒会活動の充実</p> <p>(5) 大阪産業大学ファミリーの構築</p> <p>ア. 中高連携体制の充実</p>	<p>吹奏楽部の充実</p> <p>生徒会執行部への指導</p>	<p>クラブ加入率</p> <p>吹奏楽部指導者の招聘</p> <p>生徒会による週 1 回の清掃活動の実施</p>	<p>クラブ加入率は 6 割であり、生徒は積極的に活動しようとしています。</p> <p>吹奏楽部の指導者を平成 27 年度から招聘することにしました。</p> <p>生徒会執行部は、活発に活動しようとしており、指導を強めるようにしました。</p> <p>生徒の高校への進学に合わせて担任も持ち上がり、産大附属中学から産大附属高校への進学を更にすすめやすくしました。</p>
2 進路指導の発展	<p>(1) 進路指導部の充実</p> <p>ア. 生徒の多様な受験(進路)への対応</p>		<p>○進路決定先</p> <p>内部進学 32 名</p> <p>公立</p> <p>泉陽高校 1 名等、 合計 8 名</p> <p>私立</p> <p>大阪桐蔭高校 2 名、 関西創価高校 1 名、 浪速高校 1 名、 大阪学芸高校 1 名、 履正社高校 1 名等、 合計 11 名</p>	<p>偏差値が飛びぬけて高いということではない人間が地道にたゆまず努力することを大切にしており、進路指導に当たっても生徒一人ひとりの希望を叶えることを大切にしています。</p> <p>中学 3 年生の 1 年間は生徒の希望により、産大附属高校に内部進学するための効果的な学習が可能な「中高連携コース」と、他の高校や系列の大阪桐蔭高校に進学するための「3 年受験コース」に分け、生徒及び保護者の希望する進路の実現に努めました。</p> <p>○中高連携コース生の大学進学実績 産大附属中学から産大附属高校へ進学した生徒が、兵庫県立大学、関西大学(法)に合格しました。</p>
3 広報	<p>(1) 入試広報の充実</p> <p>ア. ホームページの活用強化</p>	<p>法人事務局総合企画室学園広報課の力を借りて、ホームページの活用強化をはかります。そのためにも、校内でホームページを担当する体制をつくります。ホームページの全面リニューアルをはかるとともに、紙媒体の広報ツールと電子媒体の広報ツールのバランスを検討するようにします。</p>	<p>ホームページの全面リニューアル</p>	<p>ホームページを全面リニューアルしました。そのホームページに、梧桐祭、体育祭の動画を掲載し、本校生徒の元気で明るい姿を多くの人に見てもらっています。</p>
4 人材育成	<p>(1) 優秀な職員の確保と研修の促進</p> <p>ア. 優秀な教育職員の確保</p> <p>イ. 教員研修の設計と運営</p>	<p>中・高合わせて平成 26 年度末から僅か 5 年の間に 13 名、専任教諭数の約 2 割が定年退職することになります。中・長期的な観点から、複数年度の退職者数を、年度を越えて採用できる柔軟な措置を講じることが求められています。</p> <p>教育研修部の機能を強化し、授業アンケートの結果を踏まえた自己検討がすすむようにしていきます。</p>	<p>専任教諭の採用</p> <p>授業アンケートの実施</p>	<p>中・高合わせて 4 名の専任教諭を採用しました。</p> <p>授業アンケートの結果を踏まえ、自己検討を求めました。</p>
5 経営改革	<p>(1) 施設設備の充実</p>			<p>中学専用グラウンド防球防音ネット張り替え</p>

6 防災・安全対策	(1) 防災対策の徹底 ア. 防災意識の向上	消防訓練	消防訓練の実施	1 学期に消防訓練を実施し、防災意識の向上を図りました。
--------------	---------------------------	------	---------	------------------------------